

経済と社会保障をめぐる日本の課題

2010年11月16日

大田 弘子

政策におけるスウェーデンの優れた点

1. 政策体系の明確さと強い実行力

- “似て非なるもの”でごまかさない政策形成
- 既得権に屈しない政治のリーダーシップ

2. イノベーティブな政策を発案する力

(二元的所得税、年金の“概念上の拋出建て”、予算制度、等)

3. 徹底した情報開示 → 危機感の共有

(公的機関の情報、金融機関の情報、納税者の情報、等)

克服したい日本の問題点

1. 変化への抵抗（「強い経済」にできない）

- 弱いところを弱いまま守ろうとする政治力学
- 個人ではなく、集団（産業、地域等）に対する再分配の多さ

2. 世代間の不公平の放置

- 社会保障の聖域化ではなく、持続可能な制度こそ重要
- 負担増を伴う政策実行のあまりの難しさ

3. 政策に対する情緒的な議論

- 「後期高齢者医療制度は高齢者に対する差別」・・・？
- 納税者番号制度は「政府による国民の監視」・・・？

強い経済と社会保障への日本の課題

～ この3年間で重要 ～

1. 経済： 改革なくして成長なし

- － 規制改革、税制改革、農業改革などを断行
- － とくにグローバル化への徹底した取組みが不可欠

2. 雇用： 労働市場の包括的改革を政労使で議論

- － 転職が不利にならない、何度でも挑戦できる労働市場に
- － 産業の新陳代謝と、雇用保障の両立
- － “日本型雇用システム”の次にどんなシステムを描くか

3. 社会保障： 制度設計と改革の道筋をつける

- － 基礎年金の負担形態を徹底討論
- － 家庭医と中核病院の分担と連携による地域医療の再編、等

望ましい経済の姿

1. 常に新しいものが生まれる若々しい経済
2. 誰でも能力を磨き、発揮する機会が得られる経済
3. 次世代に責任を持ち得る経済
～ 地球環境、財政規律、社会保障制度 ～